

## 月刊誌『統計』連載「2025 SNA への最前線」

掲載号：2023年4月号～2024年2月号（隔月）（全6回）

著者：中村洋一（法政大学名誉教授）

概要：

SNA（国民経済計算体系）は、経済統計の作成・整備に関する最も重要な国際基準です。SNAはGDP統計を作成する上で必須となる基準を与えているほか、他の様々な経済統計を作成する際の統一的な基準とされています。

SNAの国際基準は、1953年に初めて設けられて以降、1968年、1993年、2008年に改定されて今日に至っています。近年、世界経済ではグローバル化、デジタル化など新たな動きが生じているほか、豊かさ（Well being）への関心も高まっています。このような変化に対応して、2025年3月の国連統計委員会ではSNAの国際基準の改定が行われ、新たな基準は「2025 SNA」と呼ばれています。

この連載では、SNAの改定の背景をテーマごとに詳しく解説しています。ここでは、2025年の国連統計委員会における改定の採択に先立つ様々な議論を紹介しており、これにより、この度の改定の背景にある課題や論点をより深く理解することができます。

各回のテーマは次のとおりです。

回	年月	テーマ
(1)	2023. 4	SNA改定の概観
(2)	2023. 6	グローバル化、多国籍企業
(3)	2023. 8	デジタル化をめぐる諸課題
(4)	2023. 10	デジタル化、新しいデジタル生産物の課題
(5)	2023. 12	Well-being
(6)	2024. 1	持続可能性、自然資源の扱い